

scala rider[®]

G4


cardo
communication in motion™



 Bluetooth[®]

User Guide

取扱説明書

目次

1. はじめに.....	3	9. インターカム(インカム)通信.....	14
2. セット内容.....	4	9.1 はじめに.....	14
3. G4の充電.....	4	9.2 旧モデルとの互換性.....	14
4. 基本操作方法.....	5	9.3 インカム通信をはじめる前に.....	14
4.1 共通の操作方法.....	5	9.4 インカム通話の開始.....	15
4.2 カスタマイズ機能.....	5	9.5 インカム通話の受信.....	15
4.3 音源と優先順位.....	5	9.6 ボイスコネク(VOX)機能.....	16
4.4 ソフトウェアアップグレードおよび操作方法.....	6	9.7 ペアリング情報のリセット (初期設定に戻す).....	16
4.5 G4のリセット.....	6	9.8 参考情報.....	16
5. 取り付け方法.....	6	9.9 インカムの問題解決方法.....	16
5.1 ヘルメットへの取り付け方法.....	6	9.10 G4と他のG4とのインカム接続の設定.....	16
5.2 有線マイク式ベースユニットのフルフェイスヘルメット への取り付け方法.....	7	9.10a. 2者間でのインカム通話.....	17
5.3 マイクとスピーカーの位置合わせ.....	7	9.10b. 3者間でのインカム通話.....	17
5.4 G4の取り付けと取り外し.....	8	9.10c. 4者間でのインカム通話.....	18
5.5 フリップアンテナの使用.....	8	9.11 G4と他のscala rider製品との インカム通話.....	19
6. 周辺機器の使用(Bluetooth対応機器) 携帯電話、GPS(ナビ)、MP3(A2DP)など.....	8	9.11a. Q2/Q2PROとの2者間インカム通話.....	19
6.1 携帯電話.....	9	9.11b. 旧モデルのscala rider製品との 2者間インカム通話.....	20
6.2 GPS(ナビ)機器.....	9	9.11c. 他のscala rider製品との 3者間インカム通話.....	20
6.3 MP3ミュージック(ワイヤレスオプション-A2DP).....	10	10. CLICK-TO-LINK.....	21
7. 内蔵FMラジオおよびMP3プレーヤー(ケーブル接続).....	11	11. サポート.....	22
7.1 FMラジオ.....	11	12. NOTICES(注意・警告).....	23
7.2 MP3プレーヤーなどとの ケーブル接続.....	13		
8. 携帯電話の利用.....	13		

IMPORTANT: 本マニュアルは、バージョン3.0版です。当社のマニュアルは、製品の新しいオプションや追加機能など最新の特徴をご案内するためにCardo社websiteで定期的に更新されます。

ご覧のマニュアルが最新のものかどうかを以下のサイトでご確認ください。必要に応じてお好みの言語のマニュアルをダウンロードいただけます。

www.cardosystems.com/download/manuals

1. はじめに

「scara rider G4」Bluetoothコミュニケーションシステムをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を安全、快適にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

このマニュアルでは、G4の操作方法を説明していますが、G4をご利用開始前に、お使いの携帯電話やGPS機器のBluetooth機能について各機器の取扱説明書をご一読いただくことをお勧めいたします。

お買い上げいただきましたG4を他のG4と接続することで1.6kmまでのインカム通話が可能になります(通信距離は環境により短くなる場合があります)。

G4をヘルメットに装着し、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やナビゲーションシステムなどの音声を聞いたり、他のライダーとの会話をワイヤレスで快適にお楽しみいただけます。

■コミュニケーション機能

- ・他の2台のスカラライダーG4またはQ2/Q2PROとのバイク間インカム三者会議通話**(G4同士通話距離1.6km/1マイル)
- ・4台のG4による2台のバイク間インカム四者会議通話**
(2ライダー+2パッセンジャー間同時通話距離1.6km/1マイル)
- ・ライダー+パッセンジャーインカム通話
(以前のスカラライダーヘッドセットとの互換性)
- ・Click-to-Link 近くにいる他のG4ユーザーとワンプッシュのボタン操作でインカム通話
- ・携帯電話との接続
(ヘッドセット、ハンズフリー*、A2DPの各プロファイルに対応)
- ・Bluetooth搭載GPSの音声案内を受信

■エンタテインメント機能

- ・A2DP/AVRCP対応のMP3プレーヤーやオーディオアダプタとのワイヤレス接続によるステレオ音楽再生
- ・Bluetooth非搭載MP3機器との有線接続
- ・FMラジオ内蔵

■その他の特徴

- ☑ AGC(Auto Gain Control)機能
走行音および周囲のノイズにあわせて自動音量調整
3段階の感度調整可能(low、Medium、High)
- ☑ VOX(Voice Operated Transmission)機能
音声による着信応答、着信拒否。
3段階の感度調整可能(low、Medium、High)
- ☑ PLC(Packet Loss Concealment)機能
パケットロス補償によりリアルタイムに音声信号を修復し音切れを抑制
- ☑ ソフトウェアアップデートに対応
Windows® XP™, Vista™ or Windows 7™.
- ☑ 音声により接続機器および接続状態を案内

scala riderが皆様のご期待にそえることを願っております。
ご意見、ご要望などございましたら以下のアドレスにご連絡
お願いいたします。

support@cardosystems.com

以下のサイトでこのマニュアルをダウンロードいただけます。

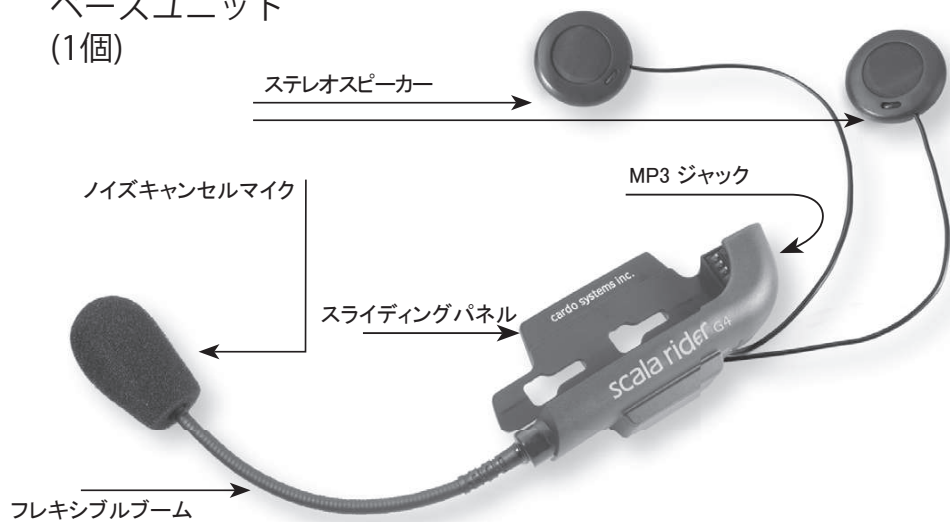
www.cardosystems.com/download/manuals

* 携帯電話がハンズフリープロファイル(Handsfree Profile/HSP)をサポートしていない場合、一部の機能が使えない、あるいは制約がある場合があります。

** 会議通話は、「Full Duplex(全二重通話)」となります。Full Duplexとは、携帯電話や固定電話などのように、通話相手同士が同時に話しをしてもお互いに相手の声を聞くことができる方式で、トランシーバー(walkie-talkieなど)のように片方が話しているときには相手は聞くことしかできない方式ではありません。

2. セット内容

ベースユニット
(1個)



コントロールユニット
(1個)



AC⇒USB変換アダプタ (1個)	
USB充電ケーブル (1本)	
ベースユニット固定用レンチ (1本)	
スピーカ固定用ベルクロパッド (2個)	
3.5mm⇒3.5mmオーディオケーブル (1本)	
ベースユニット貼付用プレート (1個)	
貼付面用拭取りシート (1個)	
コントロールユニット用収納ポーチ (1個)	
マイク用スポンジ 平型スポンジ(フルフェイス用)、丸型スポンジ(ジェット用) (各1個)	
取扱説明書(本書) (1部)	

スカラライダーG4には、アゴの空間の少ない特定のフルフェイスヘルメット用に別売のケーブル取付けマイクのご用意もあります。

重 要 :

スカラライダーG4は防水・防塵構造でIP67規格適合です。ご使用の際は充電ジャック部のシリコンカバーをしっかりと確実に閉めてご使用ください。

3. G4の充電

ご使用になる前にG4をフル充電してください。付属のAC⇒USB変換アダプタとUSB充電ケーブルで充電します。AC⇒USB変換アダプタをコンセントに挿し、USB充電ケーブルを接続します。USB充電ケーブルのもう片方をG4のコントロールユニットの充電ジャックに接続します。



コントロールユニットの充電ジャック部のシリコンカバーをあけて充電ケーブルのコネクタを差し込みます。



PCのUSBポートや市販のDC⇒USB変換アダプタを使用して充電する事も可能です。
充電中は状態表示ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると状態表示ランプが消灯します。

4. 基本操作方法

4.1 共通の操作方法

動作	操作方法
電源ON	携帯電話ボタン長押し (約4秒) 状態表示ランプ:3回青点滅 音: ビープ音 (低⇒高)
電源OFF	携帯電話ボタン長押し (約3秒) 状態表示ランプ:3回赤点滅 音: ビープ音 (高⇒低)
音量調整	ボリュームアップボタン/ボリュームダウンボタンを短く押す。
ミュート	ボリュームアップボタンとボリュームダウンボタンを同時に押す。
バッテリーレベルインジケータ	ボリュームアップボタン長押し(約3秒) 青点灯 = 電池残量十分 赤/青点灯 = 電池残量約半分 赤点灯 = 電池残量少。要充電

4.2 カスタマイズ機能:

G4はご利用になられる方にあわせて様々な機能をカスタマイズすることができます。

- ・携帯電話、インカム機能の接続状態音声案内機能のON/OFF設定はご購入時はONになっています。
- ・ご自分のライディングスタイルにあわせてAGC(自動音量調整)とVOX(音声認識)の感度調整をおこなってください。

NOTE: 2つの方法によりG4のカスタマイズが可能です:

- ・ www.cardosystems.com からCardoアップグレードソフトウェアをダウンロードして、付属のUSBケーブルでPCと接続して設定をおこなう。セクション4.4を参照。
- ・ G4本体のボタンとボイスメニューで設定をおこなう。以下を参照。

G4にボイスメニューを設定する:

利用可能な言語のいずれでも設定しボイスメニューを聞くことができます。これからCardoウェブサイトから、より多くの言語をダウンロードできるようになります。(ソフトウェアアップグレードに関してセクション4.4を参照してください)

G4がスタンバイモードの時に、チャンネルAボタンとチャンネルBボタンを同時に3秒間押してください。システムをインストールし、音声案内に従い、英語及びその他の言語を選択してください。

4.3 音源と優先順位

G4に接続されている機器の音源の種類によって次ページの表に示すように優先順位が設定されます。優先度の高い音源は、下位の音源に対して、割り込みを行い、その際、下位の音源からの音声(音楽)は中断します。

例えば、インカム通話中に携帯電話に着信があると、インカム通話を中断して、着信音が流れます。また、同様にFMラジオを聞いている際にインカム通話の呼び出しがあるとラジオが中断されます。

優先度 高	↑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話音声またはナビゲーション音声 2. インカム通話音声 3. A2DP(Bluetoothステレオ) 4. FMラジオ(内蔵) 5. オーディオジャック接続音声
優先度 低		

4.4 ソフトウェアアップグレードおよび操作方法

G4はできるだけ最新のソフトウェアをご利用ください。最新のソフトウェアをダウンロードして、PCを使用してカスタム設定を利用するために、以下のサイトでオンライン登録してください。



www.cardosystems.com/download/softwareupgrade
(コントロールユニットの裏面に貼付してあるラベル表記の製品シリアル番号をご確認ください)

アップグレードプログラムをダウンロードしたあと、商品に同梱されているUSBケーブルでPCとG4を接続してください。PCに接続すると、画面上の指示にしたがって容易にカスタマイズいただけます。今後のソフトウェアの更新やプログラムパッチをご利用のG4にダウンロードいただくことで、追加機能や状態通知、その他の便利な機能を最新の状態に保つことができます。なお、アップグレード機能は、Windows版(Windows XP、Vista、Windows 7)のみに対応しています。

なお、以下のサイトでソフトウェアアップデート方法について詳細をご確認いただけます。

www.bluenext.jp/pdf/g4up.pdf

4.5 G4のリセット

正常に動作しなくなった際は、リセット操作を行います。充電を行い、約10秒経過後、G4から充電ケーブルを抜き、再度、充電ケーブルを挿して、さらに抜いて、電源をONにすることでリセットされます。

5. 取り付け方法

5.1 ヘルメットへの取り付け方法

まず、スピーカーとマイクが固定されているベースユニットをヘルメットに装着します。コントロールユニットは、ベースユニットに着脱できるようになっています(セクション5.4を参照)。

ベースユニットの取り付け方法は2種類あります。

①標準: 固定具を用いた取り付け方法

1. ベースユニット裏面の2つのボルトを付属のベースユニット固定用レンチでゆるめます。
2. バックプレートとベースユニットでヘルメット左側のシェル部分に挟むように装着します。
3. マイクが口の正面になるようにベースユニットの位置を調整し、2つのボルトを締めて確実に固定してください。



ケーブルマイクタイプのベースユニットの場合、セクション5.2を参照ください。

②貼り付け用プレート: 上記の標準方式ではクランプが隙間に入らない、あるいは取付部の幅が広い(厚みのある)ヘルメットへの取り付け方法

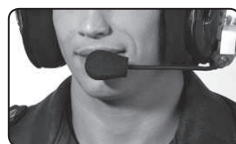


貼付け用プレート

注意:この作業は最初の1回だけです。

NOTE: 粘着式のプレートを使用することでヘルメットを痛める可能性は少ないと考えますが、Cardo社は、その効果や影響に対して一切の責任を負いかねます。粘着プレートは、一切のクレームをお受けしないことを前提として、お客様のリスクの下、その利用の可否をご判断いただく必要のある取り付け方法のオプションです。

1. 付属のベースユニット固定用レンチで、ボルトを外し、バックプレートを取り外します。
2. ヘルメットのどの位置でベースユニットを取り付けるか決めます。
3. マイクが口の正面にくるようにベースユニットの位置を調整します。位置が決まったら、貼り付け用プレートが取り付けられる部分のヘルメットの表面のほこりや汚れがないか確認してください。
4. ウェットタオルを使って、貼付用プレートを取付けるヘルメットの取付け部表面をふき取り、完全に乾燥させてください。
5. 貼付用プレートの粘着部のシールをはがします。
6. 貼付用プレートを上記3で決めた位置に貼り付けて、15秒間しっかりと押さえ付けながら固定します。
7. 粘着パッドは、十分に固定されるまで約24時間が必要です。取り付け後、24時間はG4を使用しないようにしてください。
8. 貼付用プレートが確実にヘルメットに貼り付いていることを確認の上(貼付けてから24時間以降)、ベースユニットをボルトで固定します。

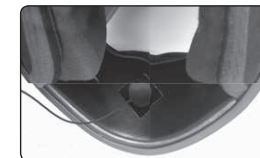


有線式マイク用ベースユニットをお持ちの方は、次ページをご覧ください。

5.2 有線式マイク用ベースユニットのフルフェイスヘルメットへの取り付け方法

まず、前述の5.1にしたがってベースユニットがヘルメットに取付けられていることを確認ください。次に、有線式マイクを取り付ける、口と向かい合うヘルメット内側のパッド部をきれいにしてください。

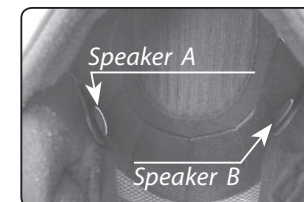
- a. ベルクロパッドの粘着部のシールをはがして、ヘルメット内側の口と向かい合う部分に貼り付けます。
- b. マイクを写真に示すようにベルクロに取り付けます。
- c. 上記が完了したら、ベースユニットをボルトで固定します。



5.3 マイクとスピーカの位置合わせ

マイクは、前述のように口の中心の前に正確に取付ける必要があります。

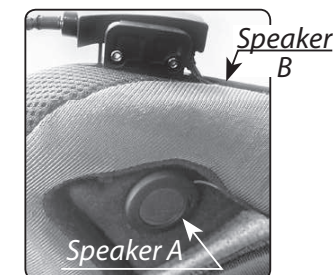
スピーカーをヘルメットの内側の耳と向き合う位置に、ベルクロで固定します(短いコードのスピーカーが左耳、長いコードのスピーカーが右耳用)。



二つのスピーカーを使用することが法律や規制等で禁止されている場合、長いコードのスピーカーを下記を参考にヘルメットのパッドの下にしまいこむことで片耳(短いコードのスピーカー)のみ使用するようにします:



スピーカー[B]のコードをヘルメットのパッドの縁に沿って、一旦、右側に回して、折り返して左側(スピーカー[A]の近傍)に戻します。その上で、スピーカー[B]をパッドの下にしまいこみます。



NOTE: よりよいスピーカー音を得るために、両方のスピーカーが耳に触れるくらいの位置にあることを確認してください。以下のサイトに、役立つ情報を掲載してあります。

www.cardosystems.com/support/faq

5.4 G4の取り付けと取り外し

取り付け:

G4コントロールユニットをベースユニットに平行にスライドして、カチッと音がするまで差し込みます。



G4を差し込む

取り外し:

G4コントロールユニットを取り付け時とは逆の向きに少し強めにスライドして外します(充電や保管のための持ち出し時)。



G4を親指で押し出す

5.5 フリップアンテナの使用

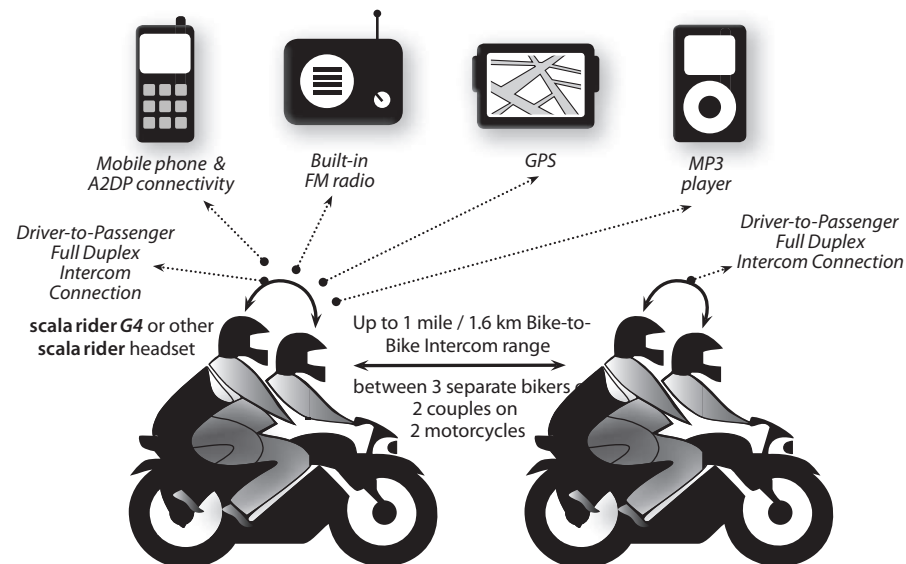
フリップアップアンテナは、ライダー間の最大のインカム通話距離を発揮させます。アンテナを立てるには、優しくアンテナ先端にある突起部をヘルメット側に押し込みます。内部のスプリングによって、アンテナが飛び出します。アンテナをたたむには、水平になって留まるまで押し込みます。



NOTE: フリップアンテナの目的は、ライダー間のインカム通話距離を最大限に発揮することにあります。携帯電話やFMラジオ、MP3プレーヤーとの利用には関係ありませんので、立てるかたたむかを気にする必要はありません。

6. 周辺機器の使用(Bluetooth対応機器) 携帯電話、GPS(ナビ)、MP3(A2DP)など

Multiple Device Connectivity (“MDC”) 機能



MDCにより次のような並列接続が可能になります*:

- ☒ 2台までの他のscala rider機器とのインカム通話
- ☒ Bluetooth対応携帯電話/GPS(ナビ)機器
- ☒ A2DP対応MP3プレーヤーやA2DPアダプター

NOTE: Bluetooth対応GPS(ナビ)機器を使用中に、携帯電話も使いたい場合、携帯電話は、G4ではなくGPS(ナビ)機器とペアリングを行ってください。

*制約に関して 9.10 bを参照



6.1 携帯電話

Bluetooth搭載携帯電話をG4と接続して使用したい場合、まず、携帯電話とG4とのペアリングを行いません。

ペアリングは、最初に一度だけ行えば、その後は、通信可能な距離内であれば、お互いにペアリングを維持することができます。

携帯電話とG4との接続が切れた場合、G4の「携帯電話ボタン」を押すことで再接続します。

Bluetooth搭載携帯電話とG4のペアリング方法：

1. 携帯電話の電源をONにし、Bluetooth機能が有効か確認します。G4の「携帯電話ボタン」を最低4秒間押し下げて、状態表示ランプが3回青く点滅して、G4をONにします。
2. G4がONの状態、状態表示ランプが赤⇄青の交互点滅になるまで「携帯電話ボタン」を最低6秒間、押し下げます。
3. 携帯電話の取り扱い方法にしたがって、Bluetooth機器の検索を行います。携帯電話の操作方法是、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
4. 数秒後に、携帯電話の画面に検索結果として「scala rider G4」と表示されますので、それを選択し、操作方法にしたがってペアリング作業を進めます。
5. PINコード、あるいは、パスキーを求められますので「0000(ゼロ4つ)」を入力します。
6. 携帯電話がG4とのペアリングが完了したことが画面に表示され、G4の状態表示ランプがゆっくり青色に点滅し始めます。これでペアリングが完了します。なお、携帯電話の機種によっては、機器登録後に接続操作を必要とする機種がありますので携帯電話の取扱説明書にしたがって操作してください。

NOTES:

- ・ペアリング操作が2分以内に終了しない場合、G4は、スタンバイモードになります。再度、上記の2を行ってペアリング状態にしてください。
- ・すべてのBluetooth搭載携帯電話がBluetooth Stereo music(A2DP)機能を持っているとは限りません。MP3プレーヤー機能のある携帯電話でもA2DPをサポートしていない場合があります。携帯電話の取扱説明書で確認ください。
- ・携帯電話の機種によっては、ペアリング操作を行った後に、G4の「携帯電話ボタン」を押し下げて、G4を携帯電話間のペアリングを完了させる必要がある場合があります。G4は、一番最後にペアリング操作を行った携帯電話に自動的に接続を行います。



6.2 GPS(ナビ)機器

Bluetooth対応GPS(ナビ)機器をG4を接続して使用したい場合、まず、ペアリングを行います。これによりGPS(ナビ)機器のナビ音声などをG4のスピーカーで聞くことができます。

NOTE: すべてのBluetooth対応GPS(ナビ)機器がヘッドセットや通信システムとの接続が可能なのではありません。とりわけ、GPS(ナビ)機器は、Bluetooth "handsfree" gateway protocol(通信手順の種類)に対応している必要があります。GPS(ナビ)機器の取扱説明書で確認ください。

GPS(ナビ)機器とG4のペアリング方法：

1. GPS(ナビ)機器の電源をONにします。
2. G4がONの状態、状態表示ランプが赤⇄青の交互点滅になるまで「携帯電話ボタン」を最低6秒間、押し下げます。
3. GPS(ナビ)機器の取り扱い方法にしたがって、Bluetooth機器の検索を行います。GPS(ナビ)機器の操作方法是、GPS(ナビ)機器の取扱説明書をご覧ください。
4. 数秒後に、GPS(ナビ)機器の画面に検索結果として「scala rider G4」と表示されますので、それを選択し、操作方法にしたがってペアリング作業を進めます。
5. PINコード、あるいは、パスキーを求められた場合、「0000(ゼロが4つ)」を入力します。
6. GPS(ナビ)機器がG4とのペアリングが完了したことが画面に表示され、G4の状態表示ランプがゆっくり青色に点滅し始めます。
7. G4でBluetooth搭載携帯電話との発信や着信を行いたい場合、携帯電話はG4ではなく、GPS(ナビ)機器とペアリングを行ってください。

NOTES:

- ・ペアリング操作が2分以内に終了しない場合、G4は、スタンバイモードになります。再度、上記の2を行ってペアリング状態にしてください。
- ・G4の優先順位機能は、GPS(ナビ)音声案内をインカム着信中で中断させることのないように設定されています。その場合、インカムの発信者(GPS利用者の相手側)では、受信者のG4が受信できないことを示す通知音が聞こえ、受信者側では、インカム発信者が呼び出していることの通知音(ピピー)が聞こえます(音声の優先順位に関しては、4.3を参照ください)。



6.3 MP3ミュージック(ワイヤレスオプション-A2DP)

G4は、A2DP/AVRCP対応の音楽プレーヤーや携帯電話からワイヤレスでステレオ音楽を受信することができます。AVRCPプロファイル対応のBluetooth機器では、G4から直接、接続相手のBluetooth機器を操作することができます。

NOTE: G4は、Bluetooth未対応のMP3プレーヤーなどからでも同梱のオーディオケーブルを利用して、音声を聞くことができます(7.2参照)。

A2DP対応機器から音楽を聴いている場合でも、携帯電話やインカムの着信を受け損なうことがないように、G4では、これらの着信があると音楽を自動的に停止します。この場合、通話終了後、A2DP対応機器の機種によっては、音楽の再生開始操作を手動で行う必要があります。

G4は、携帯電話が対応していれば、1台の同じ携帯電話で通話用と音楽用の両方でペアリングすることが可能です。また、2台の別々のA2DP対応機器とでもペアリングは可能ですが、この場合、音楽を送信したいG4の接続相手であるA2DP対応機器側で、G4への接続を選択(切り替える)する必要があります。1台は、音楽用、もう1台は、通話用という組み合わせも可能です(6.1参照)。

ステレオ音楽を聞くためのMP3プレーヤーとG4との設定：

Bluetoothステレオ(A2DP)対応MP3プレーヤーやアダプターから、G4で音楽を受信するためには、まず、ペアリングを行います。

MP3プレーヤーやA2DPアダプターとG4のペアリング方法：

NOTE: ご利用の携帯電話がA2DP搭載機種である場合、記述6.1を参照してG4とのペアリングを行ってください。

1. 設定を行いたいMP3プレーヤーやA2DPアダプターの電源をONにして、Bluetooth機能が有効か確認します。
2. G4がONの状態、状態表示ランプが赤⇄青の交互点滅になるまで「携帯電話ボタン」を最低6秒間、押し下げます。
3. MP3プレーヤーなどからBluetooth機器の検索を行います。MP3プレーヤーの操作方法は、MP3プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

NOTE: A2DPアダプターとの設定に関しては、A2DPアダプターの取扱説明書をご覧ください。

4. 数秒後に、MP3プレーヤーの画面に検索結果として「scala rider G4」と表示されますので、それを選択し、操作方法にしたがってペアリング作業を進めます。
5. PINコード、あるいは、パスキーを求められた場合、「0000(ゼロが4つ)」を入力します。
6. MP3プレーヤーやA2DPアダプターとのペアリングが完了すると、G4の状態表示ランプがゆっくり青色に点滅し始めます。

NOTE: ペアリング操作が2分以内に終了しない場合、G4は、スタンバイモードになります。再度、上記の2を行ってペアリング状態にしてください。

A2DP機器(音源側)の選択：

A2DP対応音楽プレーヤーがペアリングされている場合G4は、常にその機器からの音楽を受信できるようになります。別のA2DP対応機器からの音楽を受信できるように機器の入れ替えを行いたい場合、一旦、1台目からの音楽送信

を停止し、次に2台目からの音楽送信を開始してG4で音楽受信を確認ください。その後、G4の電源をOFFにすると、その時点で2台目に接続したA2DP対応機器が音源としてデフォルト設定に変更されます。

G4でA2DP機器(音源側)を操作する方法：

再生	MP3ボタンを3秒長押しします
一時停止/停止*	MP3ボタンを3秒長押しします
曲送り	ボリュームアップボタンを3秒長押しします
曲戻し**	ボリュームダウンボタンを3秒長押しします

* 携帯電話の機種によって異なります(機能しないばあいもあります)

** 携帯電話によっては、同じ操作を再度繰り返す必要があります

携帯電話のボイスダイヤルを使った発信	ラジオを聞いている時に、携帯電話ボタンを押して、発信したい相手の名前を大きな声で呼びます。この機能は、携帯電話がボイスダイヤル機能をもっている場合に使えます。
リダイヤル発信	ラジオを聞いている時に、携帯電話ボタンを二回押します
RDS ON/OFF (お買い上げ時: OFF)	ラジオがオンの時、ボリュームアップボタンとボリュームダウンボタンを同時に3秒長押しします (PCを使ってソフトウェアによる設定も可能)

RDS機能により、G4は、乗車地に関係なく聞きたいFM局を検索するために、受信信号の強いFMラジオ局を自動選局します。

7. 内蔵FMラジオおよびMP3プレーヤー(ケーブル接続)



7.1 FMラジオ

G4は、FMステレオラジオを受信することができます。なお、選局中の放送局や再生中の曲名などをラジオに表示できるRDS(Radio Data System)技術も搭載されていますが日本ではシステムとして実施されていないため機能しません。

ラジオON	スタンバイ状態で、チャンネルBボタンを3秒長押し
ラジオOFF	スタンバイ状態で、チャンネルBボタンを3秒長押し
ラジオ局の選局	ラジオを聞いている時に、チャンネルBボタンを短く押す(短押し)
インカムの開始	ラジオを聞いている時に、大きな声で話し始める

RDS ON/OFF (ラジオON時、2つのボタンを同時に3秒長押し)



- ・ FMラジオのON/OFF (Bボタン3秒長押し)
- ・ 選曲(Bボタンを短押し)

新しいラジオ局の検索と保存方法：

ラジオ局の事前設定は、PCを使ってアップグレードソフトウェアで行うか、直接、G4をボタン操作することで行います。

G4で新しいラジオ局を選曲する方法は2通りあります：

Seek and save(探索して保存):

1. ラジオをONにし、設定したい希望の1から6までのラジオ局をチャンネルBボタンを押して選択して下さい。
2. ボリュームアップまたはボリュームダウンボタンを3秒以上長押しすると次のラジオ局になります。
 - ・ボリュームアップボタンを押すと高い周波数のほうに探します
 - ・ボリュームダウンボタンを押すと低い周波数のほうに探します
3. ラジオ局が見つかったら、その局のラジオを聞くことができます。
4. 局検索を続けるには、ボリュームアップまたはボリュームダウンボタンを再度3秒以上長押しして下さい。
5. 見つけたラジオ局を保存するには、希望のラジオ局を見つけてから20秒以内にチャンネルBボタンを押して下さい。
6. 見つけたラジオ局を保存しなければ、G4は、その局を保存せずに局検索を終了しますが、そのまま未保存のラジオ局を聞き続ける事ができます。チャンネルBボタンを押すと次の保存されたラジオ局に変わります。

Scan and save(スキャンして保存、Seekに比べてより自動的):

1. ラジオをONにし、設定したい希望の1から6までのラジオ局をチャンネルBボタンを押して選択して下さい。
2. ボリュームアップボタンを6秒以上長押しします。
3. G4は高い周波数のほうへラジオ局をスキャンします。ラジオ局が見つかったら、スキャンを数秒間止め、そのラジオ局を聞くことができます。その後、G4は自動的に次のラジオ局のスキャンを行います。
4. ボリュームアップボタンをもう1度押しすると、スキャンを止めて見つけた局を聞き続けることができます。
5. 見つけたラジオ局を保存するには、希望のラジオ局を見つけてから20秒以内にチャンネルBボタンを押して下さい。
6. 見つけたラジオ局を保存しなければ、G4は、その局を保存せずに局検索を終了しますが、そのまま未保存のラジオ局を聞き続ける事ができます。チャンネルBボタンを押すと次の保存されたラジオ局に変わります。

NOTE: スキャン中に、Bボタンを押すと直前に聞いていたラジオ局のチャンネルにその時点のラジオ局が設定されます。

Automatic Radio Tuning(自動ラジオ局チューニング):

1つのボタンを使用した簡単な操作で、現在地で受信可能な6個の新しいラジオ局を自動的に探してチャンネルに一時的に割り当てることができます。この機能により、素早く簡単に、現在地で受信できる新しいラジオ局チャンネルリストを設定することができます。

ラジオがONのときにボリュームアップボタンを6秒間押し続けてください。G4は高い周波数のほうにラジオ局の検索を開始し、現在地で受信可能な6つのFMラジオ局を検索し、チャンネルに一時的に割り当てます。

この操作を繰り返すことで、何度でも、常に現在地で受信可能な6つのFMラジオ局を検索することができます。

チャンネルBボタンを押して、一時的に割り当てられたラジオ局を選局することができます。

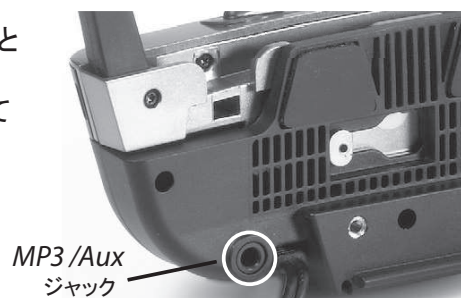
NOTE: この一時的な6局のFMラジオ局の割り当ては、前述の「Seek and save」や「Scan and save」で保存したラジオ局の情報を上書きするものではありません。G4の電源をOFF/ONすると自動的に消去され、チャンネル設定は、保存されていたラジオ局設定に戻ります。

7.2 MP3プレーヤーなどのケーブル接続：

ケーブル接続用のAUXラインインジャックの使用

G4には、MP3プレーヤーなどBluetooth未対応音楽機器でも付属の3.5mmプラグ付オーディオケーブルで有線接続できるようにAUXジャックがあります。

1. G4がONでスタンバイ状態であることを確認してください
2. 付属のオーディオケーブルを使ってMP3プレーヤーや音楽機器とG4のAUXジャックを接続してください。
3. MP3プレーヤー本体を操作して、MP3プレーヤーからの音楽をG4のスピーカーで聞いてください。



ボリューム調整は、MP3プレーヤーなど有線接続された外部機器の本体かG4のボリューム調整ボタンで行ってください。

G4にインカム等の音声接続があるとMP3プレーヤーからの音楽はミュートされます。音楽は、G4が再度スタンバイ状態に戻るとミュートが解除されます。

NOTE: MP3プレーヤーを聞いている時は、VOX機能は使えません。

8. 携帯電話の利用

携帯電話での発信および着信操作

BASIC FUNCTIONS

着信応答	携帯電話ボタンを押すか、着信中に大きな声で発声(どんな言葉でも構いません)
着信拒否	15秒間そのままにしておくか、着信中に携帯電話ボタンを3秒間長押しします

通話終了(終話)	通話中に携帯電話ボタンを押すか通話相手からの切断を待ちます
ボイスダイヤル	スタンバイ時、携帯電話ボタンを押して、発信したい相手の名前を大きな声で呼びます。この機能は、携帯電話がボイスダイヤル機能をもっている場合に使えます。
リダイヤル	スタンバイ時、携帯電話ボタンを二回押します
3者通話モード(拡張機能)	
通話へのAチャンネルの加入と離脱(切り替え)	通話中にチャンネルAボタンと押します
通話へのBチャンネルの加入と離脱(切り替え)	通話中にチャンネルBボタンを押します

G4が通話中のとき、インカム受信があっても自動的にインカムは拒否されます。通話が終了すると、インカム発信や受信が可能になります。

状態表示ランプ

LED(ランプ)表示	状態
表示なし	G4 OFF
3秒に1回青点滅	スタンバイ(待ち受け)状態
3秒に2回青点滅	通話中/ラジオ・音楽受信中
3秒に1回赤点滅	電池残量少ない(スタンバイ中)
3秒に2回赤点滅	電池残量少ない(通話中やラジオ・音楽を受信中)
赤点灯(赤のまま)	充電中

9. インターカム(インカム)通信

9.1 はじめに

G4は、フリップアンテナにより圧倒的なバイク間インカム通信距離を実現します。利用環境にもよりますが、その距離は、最大1.6kmに達します。

また、フリップアンテナは、直線距離でそこまでの距離の必要性を有しないビルなどの多い都市部でも通信品質の維持に威力を発揮します。インカムを使わないときでもフリップアンテナをそのまま立てておいても構いません。



長距離通信のための
フリップアップアンテナ

1台または2台の対抗機器とG4を接続するためには、まず、それぞれの機器とペアリングを行います。この取扱説明書では、便宜上、1台目の対抗機をライダーA、2台目の対抗機をライダーBと表記します。

ペアリングは、最初に一度だけ行えば、その後は、通信可能な距離内であれば、お互いにペアリングを維持することができます。

NOTE: ほかのscala rider製品とのインカム通話設定に関しては、9.11を参照してください。

G4には、複数のインカム接続ができるように2つのインカムチャンネルがあります。そのため、G4は、同時にほかの2台のG4と通信することができます。その2台のうちのいずれかがさらにほかのG4と接続されている場合、結果的に4者間での通話(4者通話モード*)が可能になります(9.10c参照)。

* 4者通話モード: 4人のG4ユーザーが同時に会話に参加できるモードです

9.2 旧モデルとの互換性

G4は、機器構成の異なるscala riderの他モデルともインカム通信が可能です。これらの他モデルとの接続においては、特定の条件や制限があります。

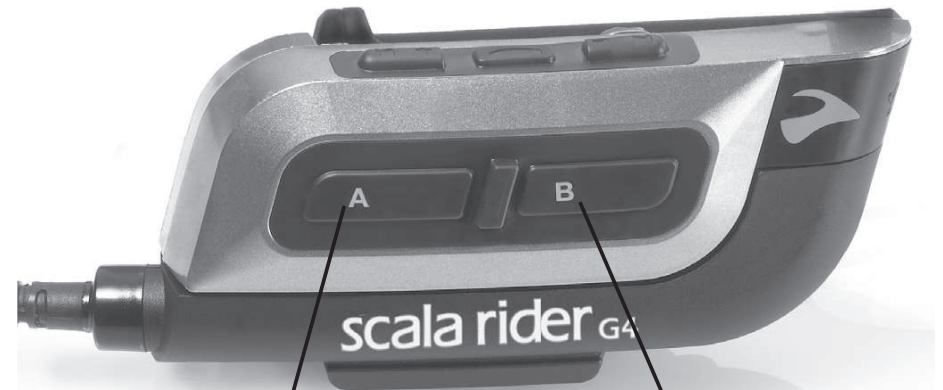
G4とほかのscala rider製品との通信距離は、距離の短いほうの製品の条件となります。例えば、G4とQ2PROの組み合わせでは、Q2PROの通信距離仕様である700mが通信できる距離となります。

以下の項目では、G4とscala riderの他モデルとのペアリング方法を記載します。また、G4は、Schuberth SRC-System™とも互換性があります。詳しくは、下記サイトをご覧ください。

www.cardosystems.com/src

9.3 インカム通信をはじめる前に

G1には、ほかの2台の対抗機器に素早く接続するための2つの呼び出しボタンがあります。便宜上、この2台をライダーA、ライダーBとして説明します。次項以降で、インカム通信を行うための操作方法に関して記載します。



チャンネルAボタン

チャンネルBボタン

G4は、すべてのscala riderシリーズと利用可能であるため、まずは、ご利用になりたい機器構成でのペアリングを行うための説明をご覧ください、その上で、後日、必要に応じて機器の入れ替えや変更を行う場合に、新しい組み合わせに応じた説明をご覧くださいようにしてください。

例えば、ほかの2人のG4を使っている友人とインカムを主に利用するのであれば、9.10bの説明をお読みください。

以下の一覧からご希望の接続機器構成をご確認いただきその説明項目をお読みいただき、そのあとで9.4に戻ってください。

機器の組み合わせと説明項番表

接続する機器の組み合わせ(機器構成)	記載項番
G4 + G4	9.10 a
G4 + Q2またはQ2PRO	9.11 a
G4 + Q2/Q2PRO以外のscala rider製品	9.11 b
G4 + 2台のG4	9.10 b
G4 + G4 + Q2またはQ2PRO	9.11 c
G4 + 2台のQ2またはQ2PRO	9.11 c
G4 + G4 + Q2/Q2PRO以外のscala rider製品	9.11 c
G4 + Q2またはQ2PROのいずれか1台 + Q2/Q2PRO以外のscala rider製品1台	9.11 c
G4 + Q2/Q2PRO以外の2台のscala rider製品	9.11 c
G4が4者通話構成の中の1台となる場合	9.10 c

9.4 インカム通話の開始

ペアリングが完了したら、インカム通話を行ってみます。まだ、ペアリング作業を行っていない場合、左記の表を参考にご希望の機器構成のペアリング方法をご確認いただきペアリングを行ってください。

G4とペアリングされた機器間でインカム通話を行うには、以下の2通りの方法があります(スタンバイ状態であることを確認してください)。

ボイスコネクト(音声接続)機能： 短い会話向きです。 30秒間会話がない状態が続くとスタンバイ状態になります。 <大きな声で話し始めます> 大きな声で話し始めると、ペアリングされた機器間でインカム通話が確立します。ライダーA、ライダーBとそれぞれペアリングが完了している場合、3者通話になります。	チャンネルボタン接続： 長めの会話向きです。 会話の有無とは関係なく、音声通信が可能な状態でチャンネルを保ちます。 <チャンネルAボタンを1回押します>ライダーAとのインカム通話を開始します。もう1回押すとインカム通話を終了します。 <チャンネルBボタンを1回押します>ライダーBとのインカム通話を開始します。もう1回押すとインカム通話を終了します。
--	---

NOTE: インカム通信時は、リダイヤルとボイスダイヤル機能は使えません。

9.5 インカム通話の受信

相手側からインカム接続要求があるとほぼ瞬時に通信が開始されます。

NOTE: G4の優先順位機能は、携帯電話の通話やGPS(ナビ)音声案内をインカム着信で中断することのないように設定されています。その場合、インカムの発信者(呼び出し相手側)では、受信者のG4が受信できないことを示す通知音が聞こえ、受信者側では、インカム発信者が呼び出していることの通知音(ピーピー)が聞こえます(音声の優先順位に関しては、4.3を参照ください)。

9.6 ボイスコネクト(VOX)機能

G4には、安全で一部の機能を声によりハンズフリー操作できるVOX機能が搭載されています。

- ・着信を応答するには、大きな声で(もしもし、など)発声してください。
- ・着信を拒否するには、15秒間何も言わずにそのままにしてください。
- ・インカム着信を拒否するには、30秒間何も言わずにそのままにしてください。

NOTE: ボイスダイヤル機能の有効、無効の設定は、インカム機能にのみ動作します。

ボイスコネクト機能を有効、または無効に設定するには、PCを使ってソフトウェア上で行うか、直接ボイスメニューで設定できます(4.2参照)。

9.7 ペアリング情報のリセット(初期設定に戻す)

本項の説明は、一度でもペアリングを行った場合にのみ意味のある内容です。

以下の手順で、ペアリング機器の情報を削除することができます。

1. G4がONの状態、携帯電話ボタンを最低6秒、状態表示ランプが赤⇄青のすばやい点滅に変わるまで、長押しします。
2. 次に、ボリュームアップボタンを3秒間、長押しします。
3. 状態表示ランプが赤と青のランプが同時に5回点滅し(紫色のように見えます)、その後G4が自動的にOFFになります。これで、リセットが無事に完了したことを示します。

9.8 参考情報

a. G4を他の機器と接続する

G4をほかのscala rider製品とペアリングするには、9.10cを参照ください。

b. 相手が通話中の場合(G4を使用している場合)

インカム通信を行いたい相手がすでに通話中、GPS(ナビ)音声受信中、インカム通話中の場合、通話中(ビジー状態)であることをビープ音(ピッピッ)で通知します。

c. インカムの自動再接続機能

G4とペアリングされている相手機器が通信可能距離を外れ、通信が切断された場合、G4は直ちに相手機器に対して再接続を開始します。

G4がスタンバイ状態であれば、チャンネルAボタン、あるいはチャンネルBボタンを押すことで手動でも相手機器に再接続できます。

d. 会議通話モード時の制約事項

自分を含めて、3者あるいは4者間でのインカム通話モードになると、その参加者の中で同時に2つのチャンネルを使っているユーザーは、携帯電話の着信やGPS(ナビ)機器からの音声案内を受信することができなくなりますのでご注意ください(9.10b、9.10c参照)。

9.9 インカムの問題解決方法

まず、マイクが口の中心の前に位置するように適切に取り付けられているか確認してください(マイクと口の間の距離があくと、相手に声が聞こえなかったり、VOX機能が正確に動作しなかったりします)。

G4は、騒音環境下で使用されることを前提に設計されています。したがって、インカム機能をテストする際にも、アイドリング中のバイクの近くなど室内ではなく、大きな音のある環境下で行ってください。また、G4どうしが本書の説明にしたがって正しくペアリングされていることを再確認してください。

9.10 G4と他のG4とのインカム接続の設定

ペアリングを行う際の状態表示ランプ

インカムチャンネル	ペアリング/接続(呼び出し)ボタン	ペアリングモード時のランプ表示
チャンネルA	チャンネルAボタン	早い赤点滅
チャンネルB	チャンネルBボタン	早い青点滅

9.10a. 2者間でのインカム通話

■2人のユーザー間のペアリング方法

G4どうしの接続の場合:

1. どちらかのG4が電源OFFの場合、状態表示ランプが青色に3回点滅するまで携帯電話ボタンを押してONにします。
2. 両方のG4の状態表示ランプが青色にゆっくり点滅していることを確認します。
3. インカム通話設定したいチャンネルを選択します(AボタンかBボタン)。

NOTE: 選択したチャンネルがすでに使用されていた場合、新しくペアリングを行った機器情報に上書きされます。

4. 選択したチャンネルのボタン(AボタンまたはBボタン)を、最低6秒、状態表示ランプが、インカム設定用のペアリング状態であることを示す青または赤の早い点滅になるまで長押しします(9.10の表参照)。
5. 上記3から4の操作を、もう1台のG4でも行います。
6. 数秒後に、両方のG4の状態表示ランプが2秒間点灯し、ペアリングが完了したことを示します。これでインカム通話の準備の完了です。

NOTE: 上記のペアリング作業が2分以内に完了しない場合、G4は、スタンバイ状態になります。

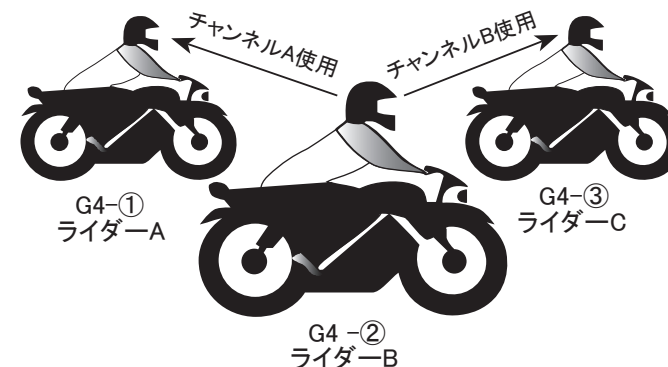
インカム通話の開始

G4がスタンバイ状態で、ペアリングされたG4間でインカム通話を開始するには以下の2通りの方法があります:

ボイスコネクト(音声接続)機能: <大きな声で話し始めます> 大きな声で話し始めると、ペアリングされたもう1台のG4間とでインカム通話が確立します。インカム通話は、参加者が30秒間何も言わない状態になると切断されます。	チャンネルボタン接続: チャンネルAボタンかBボタンを押すことで、ペアリングされたもう1台のG4とのインカム通話の開始、解除を行います。
---	---

9.10b. 3者間でのインカム通話

G4では、以下の図に示すような3人のユーザー間でインカム通話を行うことができます。



上記の構成では、ライダーBがライダーAとライダーCの両方にペアリングされています。

IMPORTANT: ライダーBは、3者間でのインカム通話中、2つのBluetooth接続を使うことになるため、3者間通話が終了するまで、ライダーBは、携帯電話やGPS(ナビ)機器との接続が切断されます。終了すると、自動的に、ライダーBは、携帯電話やGPS(ナビ)に再接続を行います。ライダーAとライダーCは、それぞれの携帯電話やGPSとの接続は3者間通話中でも維持されます。

3者間インカム通話接続の設定と構築方法

■3人のユーザー間のペアリング方法

3台のG4のペアリングは、3台目が加えて9.10aの手順を繰り返して行います。G4を他の2台のG4とペアリングを行うには:

1. G4(G4-②)を2台目のG4(G4-①)と9.10aを参考にして、チャンネルAを使って行います。
2. G4(G4-②)を3台目のG4(G4-③)と9.10aを参考にして、チャンネルBを使って行います。

インカム通話の開始

G4がスタンバイ状態で、ペアリングされたG4間でインカム通話を開始するには以下の2通りの方法があります：

ボイスコネクト(音声接続)機能：

〈大きな声で話し始めます〉
大きな声で話し始めると、ペアリングされたG4間でインカム通話が確立します。
ライダーA、ライダーBとそれぞれペアリングが完了している場合、3者通話になります。

チャンネルボタン接続：

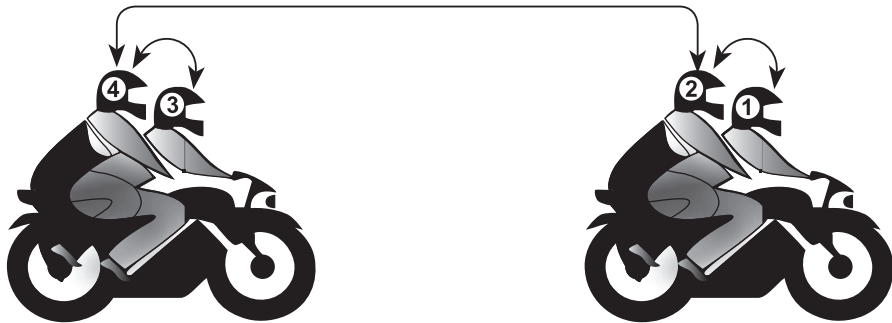
チャンネルAボタンかBボタンを1回押すことで、ライダーAまたは、ライダーBとのインカム通話の開始、解除を行います。

9.10c. 4者間でのインカム通話

G4が他の3台のG4と接続されている場合、下記説明のように4人のユーザー間で全二重インカム通話ができます。

4者間通話は、直線的な機器接続構成での動作となります、つまり、下記の図では、2人のパセンジャーがそれぞれのグループ間の接続を維持する役割を持ち、どちらかのパセンジャーが切断されると、そのパセンジャーが再接続を行うまで、4者間通話そのものも中断されることとなります。

下図では、2台のバイクで2組のタンデムユーザーを想定しています。



上図では、いずれもパセンジャー(②と④)が二つのBluetooth接続を行っています。

パセンジャー②は、ライダー①とパセンジャー④とペアリングされています。
パセンジャー④は、ライダー③とパセンジャー②とペアリングされています。

IMPORTANT: 両方のパセンジャーは、4者間でのインカム通話中、2つのBluetooth接続を使うことになるため、4者間通話が終了するまで、両パセンジャーは、携帯電話やGPS(ナビ)機器との接続が切断されます。終了すると、自動的に、両パセンジャーは、携帯電話やGPS(ナビ)に再接続を行います。ライダー①とライダー②は、それぞれの携帯電話やGPSとの接続は4者間通話中でも維持されます。

■ 4台のG4のペアリング方法

4者間インカムモードで会話を行うには、左記の図に示すように4台のG4をペアリングする必要があります。すべてのG4が電源OFFの状態から設定作業を始めます。

Step 1: ライダー①とパセンジャー②を、下記にしたがってチャンネルAでペアリングします。

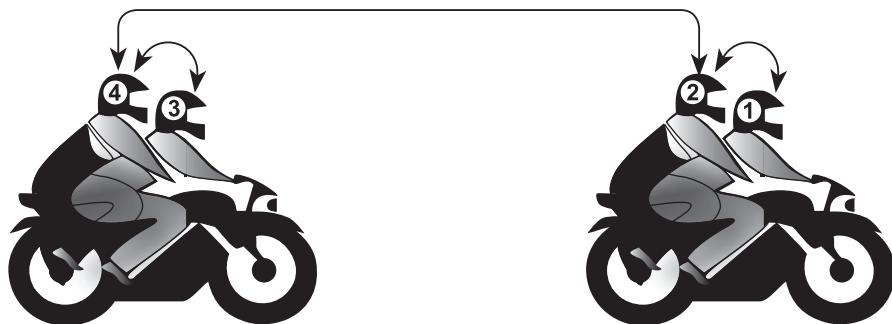
- 状態表示ランプが青色に「3回点滅するまで携帯電話ボタンを押して、2台のG4の電源をONにします。
- 2台のG4の状態表示ランプが青色にゆっくりと点滅していることを確認します。
- チャンネルAボタンを最低6秒、状態表示ランプが、インカム設定用のペアリング状態であることを示す青または赤の早い点滅になるまで長押しします(9.10の表参照)。
- ボタンから手を放し、数秒すると、両方のG4の状態表示ランプが2秒間点灯し、ペアリングが完了したことを示します。これでインカム通話の準備の完了です。

Step 2: ライダー③とパセンジャー④を、チャンネルAでペアリングします。
ライダー③とパセンジャー④の間で上記の作業を繰り返します。

Step 3: パセンジャー②とパセンジャー④をチャンネルBでペアリングします。
パセンジャー②とパセンジャー④の間で、チャンネルBボタンを使って上記の作業を繰り返します(上記Step 1-cのチャンネルAをチャンネルBに置き換え)。

4者間インカム通話のためペアリングが完了して、準備が整いました。

NOTE: 上記のペアリング作業が2分以内に完了しない場合、G4は、スタンバイ状態になります。



4者間インカム通話の開始

既述の手順にしたがって4台のG4のペアリングを完了させ、スタンバイ状態で、以下の手順で4者間インカム通話を行います：

- パセンジャー②がチャンネルBボタンを押してパセンジャー④と通話を開始。両方のG4で音声聞こえることを確認してから次のステップに移ります。
- ライダー①がチャンネルAボタンを押してパセンジャー②と通話を開始。
- ライダー③がチャンネルAボタンを押してパセンジャー④と通話を開始。

これで4者間インカム通話モードが確立されました。

NOTE: いずれか1台のG4が、4者間インカム通話から切断、離脱などを行い、再接続がうまくいかない場合、上記aからcの順序で正確に繰り返してください。

9.11 G4と他のscala rider製品とのインカム通話

9.11a. Q2/Q2PROとの2者間インカム通話

G4をQ2と利用する場合、Q2の取扱説明書も参考にしてください。

- どちらかの機器が電源OFFの場合、状態表示ランプが青色に3回点滅するまで、G4では携帯電話ボタンを、Q2ではCTRLボタンを押してONIにします。
- 両方の機器の状態表示ランプが青色にゆっくり点滅していることを確認します。
- G4で使用可能なチャンネルを選んでQ2とペアリングを行います(チャンネルAまたはB)

NOTE: 選択したチャンネルがすでに使用されていた場合、新しくペアリングを行った機器情報に上書きされます。

- G4で、選択したチャンネルのボタン(AボタンまたはBボタン)を、最低6秒、状態表示ランプが、インカム設定用のペアリング状態であることを示す青または赤の早い点滅になるまで長押しします(9.10の表参照)。
- Q2で、状態表示ランプが、インカム設定用のペアリング状態であることを示す赤の早い点滅になるまで、CTRLボタンとMCボタンを同時に長押しします(Q2の取説参照)。
- 数秒後に、両方の機器の状態表示ランプが2秒間点灯し、ペアリングが完了したことを示します。これでインカム通話の準備の完了です。

NOTES:

- ペアリング作業が2分以内に完了しない場合、機器はスタンバイ状態になります。
- ボイスコネクト機能によるインカム通話の開始は、G4とQ2PROからのみ可能です。Q2の場合は、ボタンを押すことで手動でのインカム開始が可能です。

9.11b. 旧モデルのscala rider製品との2者間インカム通話

G4を旧モデルのscala rider製品(Solo、FM、TeamSetPRO、TeamSet[Driver unit]など)と利用する場合、念のためにこれらの機器の取扱説明書をご用意ください。

1. G4が電源OFFの場合、状態表示ランプが青色に3回点滅するまで、携帯電話ボタンを押してONIにします。
2. 両方の機器の状態表示ランプが青色にゆっくり点滅していることを確認します。
3. G4で使用可能なチャンネルを選んで接続相手機器とペアリングを行います(チャンネルA またはB)。

NOTE: 選択したチャンネルがすでに使用されていた場合、新しくペアリングを行った機器情報に上書きされます。

4. G4で、選択したチャンネルのボタン(AボタンまたはBボタン)を、最低6秒、状態表示ランプが、インカム設定用のペアリング状態であることを示す青または赤の早い点滅になるまで長押しします(9.10の表参照)。
5. 数秒後に、G4の状態表示ランプが2秒間点灯し、ペアリングが完了したことを示します。これでインカム通話の準備の完了です。

NOTES:

- ・ペアリング作業が2分以内に完了しない場合、機器はスタンバイ状態になります。
- ・旧モデルのscala rider製品(Solo、FM、TeamSetPRO、TeamSet[Driver unit]など)をパセンジャー用に使用する場合、ボイスコネクト機能は、G4からのみ使えます。ただし、どのモデルであってもボタン操作により手動でインカム開始が可能です。

G4からのインカム通話の開始

G4がスタンバイ状態で、ペアリングされた機器間でインカム通話を開始するには以下の2通りの方法があります:

ボイスコネクト(音声接続)機能:

<大きな声で話し始めます>
大きな声で話し始めると、ペアリングされた機器間でインカム通話が確立します。インカム通話は、参加者が30秒間何も言わない状態になると切断されます。

チャンネルボタン接続:

チャンネルAボタンかBボタンを1回押すことで、ライダーAまたは、ライダーBとのインカム通話の開始、解除を行います。

インカム通話を下記のそれぞれの機種から開始するには:

- ・Q2PRO: MCボタンを1回押して開始、もう1回押すと終了します。
- ・Q2: MCボタンを2回押して開始(2回押す際の間隔は3秒間)、もう1回押すと終了します。
- ・その他の旧モデル製品: 各製品のCTRLボタンを押すことで開始と終了の操作を行います。

9.11c. 他のscala rider製品との3者間インカム通話

G4とほかのscala rider製品との通信距離は、距離の短いほうの製品の条件となります。例えば、G4とQ2PROの組み合わせでは、Q2PROの通信距離仕様である700mが通信できる距離となります。

NOTE: 旧モデルのscala rider製品(Solo、FM、TeamSetPRO、TeamSet[Driver unit]など)接続されている場合、Rider-to-Passengerモードのみ利用可能です。

すべての方式は、「Full Duplex(全二重通話)」となります。Full Duplexとは、携帯電話や固定電話などのように、通話相手同士が同時に話しをしてもお互いに相手の声を聞くことができる方式で、トランシーバー(walkie-talkieなど)のように片方が話しているときには相手は聞くことしかできない方式ではありません。

■ G4と2台のQ2またはQ2PROとの接続:

9.11aを参考に設定を行います。
Rider-to-PassengerかBike-to-Bikeモードを使用します。

■ G4、Q2またはQ2PRO、Solo/FM/TeamSetPRO/TeamSet[Driver]のいずれか1台との接続:

Q2/Q2PRO: 9.11aを参考に設定を行います。
Bike-to-Bike modeモードを使用します。

Solo、FM、またはTeamSet[Driver]: 9.11aを参考に設定を行います。
必ずRider-to-Passengerモードを使用します。

接続例:

G4とQ2、scala rider FMの接続:

1. G4とQ2を9.11aを参考に設定します。チャンネルAを使用。
2. G4とFMを9.11bを参考に設定します。チャンネルBを使用。
(必ずRider-to-Passengerモードで実施)

■ G4、もう1台のG4、その他のscala rider製品(Q2/Q2PRO、Solo、FM、TeamSetPRO、TeamSet[Driver])との接続:

1. 9.10bを参考に、もう1台のG4との設定を行います。
2. 9.11aまたは9.11bを参考に、もう1台の利用したいscala rider製品との設定を行います。

接続例:

G4ともう1台のG4、scala rider FMの接続:

1. G4ともう1台のG4を9.10aを参考に設定します。チャンネルAを使用。
2. G4とFMを9.11bを参考に設定します。チャンネルBを使用。
(必ずRider-to-Passengerモードで実施)

G4からのインカム通話の開始

G4がスタンバイ状態で、ペアリングされた機器間でインカム通話を開始するには以下の2通りの方法があります:

ボイスコネクト(音声接続)機能:

<大きな声で話し始めます>
大きな声で話し始めると、ペアリングされた機器間でインカム通話が確立します。
ライダーA、ライダーBとそれぞれペアリングが完了している場合、3者通話になります。

チャンネルボタン接続:

チャンネルAボタンかBボタンを1回押し押して、ライダーAまたは、ライダーBとのインカム通話の開始、解除を行います。

10. CLICK-TO-LINK(クリックトゥーリンク)

Click-to-Linkは、G4に新しく追加された社会的なコミュニケーション機能です。この機能を使うことで、自分の周囲にいる同じG4ユーザーと1対1の会話が事前のペアリング設定を必要とせずに可能になります。

信号待ちをしているときや道路などで見かけた他のG4ユーザーとその場限りで接続できる専用のチャンネルをイメージしてください。

Click-to-Link機能は、勝手にほかのG4ユーザーから接続されないように、PCを使って専用ソフトウェアの設定画面で、OFFにすることができます。

なお、Click-to-Linkは、ペアリングを行ったG4間では、動作しません。

■ CLICK-TO-LINKを使う

Click-to-LinkのON/OFFの設定:

PCを使って専用ソフトウェアの設定画面で、ON/OFFにすることができます(4.2参照)。なお、初期設定では、OFFになっています。

音源と優先順位

G4に接続されている機器の音源の種類によって次ページの表に示すように優先順位が設定されます。優先度の高い音源は、下位の音源に対して、割り込みを行い、その際、下位の音源からの音声(音楽)は中断します。

例えば、携帯電話の着信やGPS(ナビ)の音声案内は、Click-to-Link通話中であつてもそれを中断し、割り込みを行います。一方、Click-to-Linkは、FMラジオの音声に割り込んで通話可能です。

Click-to-Linkとインカムは、同じ優先順位です。どちらかを利用中の場合、片方は割り込みを行うことはできません。したがって、Click-to-Link要求があつても、相手がインカム通話中の場合、中断させることはできません。その逆も同様です。

優先度 高	↑	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話音声またはナビゲーション音声 2. インカム通話音声/Click-to-Link 3. A2DP(Bluetoothステレオ) 4. FMラジオ(内蔵) 5. オーディオジャック接続音声
優先度 低		

IC(Intercom/インカム)要求トーン: Click-to-Link通話中に、事前にペアリングされていたライダーAやライダーBがインカム通話を要求してきた場合、ライダーAやライダーBでは、相手が通話中であることを示すビーブ音が聞こえ、相手側も同様にビーブ音** (IC要求トーン)が聞こえます。Click-to-Linkが何らかの理由によって切断され、近くに他のG4ユーザーがいる場合、直前とは異なる相手とClick-to-Link接続が行われるかもしれません。

* ピップピツというビーブ音が聞こえます

** ピピーというビーブ音が聞こえます

全般機能

区分	目的	操作方法
Click-to-Link要求	Click-to-Link要求開始*	チャンネルAボタンを2回押します
	Click-to-Link要求中止	チャンネルAボタンを1回押します
Click-to-Link応答	Click-to-Link要求応答	呼び出し音が聞こえたらチャンネルAボタンを押すか、VOX機能がONの場合、大きな声を出します
	Click-to-Link要求拒否	呼び出し音が聞こえても、そのまま10秒間そのままにして呼び出し音がなくなるのを待ちます
Click-to-Link通話中	Click-to-Link通話終了	チャンネルAボタンを1回押します

* G4は、ビーブ音と表示ランプが赤で点滅している10秒間だけ周囲のClick-to-LinkがONの設定になっているG4を検索します。

NOTE: Click-to-Linkは、設定済のライダーAやライダーBとのペアリングを書き換えるものではありません。Click-to-Linkは、一時的な、その場限りの会話を行うための別のチャンネルを使用します。

11. サポート

その他の情報に関しては以下サイトを参照ください。
www.cardosystems.com または、 www.bluenext.jp
 FAQ: www.cardosystems.com/support/faq
 お問い合わせメール: support1@bluenext.jp

Phone(電話):

日本: 03-3496-3022 (年末年始除く年中無休10時~18時)

USA and Canada: 1-800-488-0363

International: +4989 450 36819

IMPORTANT

MULTINATIONAL ELECTRONIC COMMERCE COMPANIES AND ONLINE AUCTION WEBSITES ARE NOT AUTHORIZED TO SELL CARDO PRODUCTS. ANY PURCHASES FROM SUCH SITES ARE AT YOUR OWN RISK. TO RECEIVE WARRANTY OR CUSTOMER SERVICE, YOU MUST SUBMIT ORIGINAL RECEIPTS FROM AUTHORIZED CARDO DEALERS.

PRODUCTS THAT WERE IMPORTED FROM NORTH AMERICA MUST ALSO BE SERVICED THERE.

12. NOTICES

Federal Communications Commission (FCC) / Industry Canada (IC) Statement

15.21

You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the part responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

15.105(b)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC / IC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off

and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Operation is subject to the following two conditions:

- 1) this device may not cause interference and
- 2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

FCC/IC RF Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance. The antenna used for this transmitter must not transmit simultaneously with any other antenna or transmitter, except in accordance with FCC/IC multi-transmitter product procedures.

European CE Notice

The scalariderG4 headset (the "Product") is in conformity with the following essential requirements of Council Directive 1999/5/EC (referred to as R&TTE Directive): Articles 3.1a, 3.1.b and 3.2. The Product is manufactured in accordance with Annex II of the above directive.

Declaration of Conformity (DOC)

The scalariderG4 headset is compliant with and adopts the Bluetooth® Specification 2.1 and has successfully passed all interoperability tests that are specified in the Bluetooth® specification. However, interoperability between the device and other Bluetooth®-enabled products is not guaranteed.



IMPORTANT SAFETY AND WARRANTY INFORMATION – WAIVER AND GENERAL RELEASE

WARNING:

Cardo Systems Inc., (“Cardo”) notifies you that your complete and undivided attention is required when using a communication device while riding a motorcycle, scooter, moped, ATV, quad-bike, bicycle or any other vehicle or equipment (“vehicle”). Failure to avoid potentially hazardous situations could result in accident resulting in serious injury or death.

Cardo strongly advises you to take all necessary precautions and remain alert to the traffic, weather and all road conditions. It is best to stop your vehicle on the roadside away from traffic prior to activating or deactivating the Product or initiating or receiving any calls.

Do not perform pairing, linking or similar operations while operating a vehicle. All publications, advertisements and similar sales materials are intended to address technical capabilities and should not be construed as encouraging the operation of Cardo’s products (“Product”) in any manner that is unsafe or prohibited by law.

Exercise all due caution while using this Product and obey all applicable traffic laws. Always operate the vehicle and the Product in a safe manner.

Do not become distracted by the Product while driving or riding on a vehicle. Remain mindful of all driving conditions when using the Product. Always make sure that any use of your hands in connection with the Product is performed easily, appropriately and in a safe manner. Keep your hands on the handlebar while operating the vehicle. Minimize the time your hands perform any operation on the Product and stop safely away from any traffic to make adjustments. When riding, always consider road, traffic, terrain and other conditions to maximize safety. Do not operate the Product if it becomes unsafe to do so.

In some states, the use of mobile communications systems is prohibited or restricted. Check all laws and regulations that apply to your region before using the Product and be mindful that compliance with all laws and

regulations is the user’s responsibility. Use the Product in motion only where and in the manner that such devices are permitted by applicable law. The Product should not be used in contravention of local, state or federal laws and regulations. Please check federal, state and local laws and regulations before using your Cardo Product.

No part of the body should come in contact with the antenna during operation of the equipment. Use Product only where safe, and avoid usage at gas stations, fuel depots or around explosives. Use with hearing aids and medical devices only after consulting a physician or specialist. Make sure to install and mount the Product in a stable manner.

Volume levels should be kept at reasonable levels and not at their maximum to avoid impairment of ambient noise.

HEALTH WARNINGS:

Hearing Loss

Audio devices can cause hearing loss. Employ care and avoid exposure to volume output levels that will damage or impair hearing or lead to hearing loss. Permanent hearing loss may occur if Products are used at high volume for prolonged periods of time.

RF Signals

Most electronic equipment is shielded from RF signals. However, certain electronic equipment may not be shielded against the RF signals emanating from your wireless equipment.

Pacemakers

The Health Industry Manufacturers Association recommends that a minimum separation of about six inches (or 16 cm) to be maintained between a mobile phone or wireless device and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. Be sure not to interfere with the functionality of personal medical devices.

Hearing Aids

Some devices may interfere with certain hearing aids. In the event of such interference, you should consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

Other Medical Devices

If you use any other personal medical device, consult the manufacturer of your device and/ or your physician to determine if it is adequately shielded from interference caused by external RF energy. Your physician may be able to assist you in obtaining this information.

LIMITED WARRANTY

Subject to the applicable laws and regulations in your jurisdiction, your Product is covered by a OneYear Limited product warranty from the date of original purchase. Please retain the retail sales receipt and your registration data for proof of purchase.

Subject to the aforementioned, Cardo hereby represents that this Product is warranted to be free from defects in materials or workmanship (proof of purchase and registration required). Within the subject period, Cardo will, at its sole option, repair or replace any components that fail in normal use. Such repairs or replacements will be made at no charge to the customer for parts or labor, provided that the customer shall be responsible for any transportation cost. This warranty does not cover failures due to abuse, misuse, accident or unauthorized alteration or repairs.

This Product is intended to be used only as a communication and entertainment device and should not be used in any location or jurisdiction where its use is prohibited.

THE WARRANTIES AND REMEDIES CONTAINED HEREIN ARE EXCLUSIVE AND IN LIEU OF ALL OTHER WARRANTIES EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING ANY LIABILITY ARISING UNDER ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, STATUTORY OR OTHERWISE THAT CARDO SPECIFICALLY DISCLAIMS.

THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC LEGAL RIGHTS WHICH MAY VARY FROM STATE TO STATE OR FROM JURISDICTION TO JURISDICTION. CARDO MAKES NO OTHER WARRANTIES EXPRESS OR IMPLIED BEYOND THOSE STATED SPECIFICALLY HEREIN. THIS WARRANTY IS EXTENDED BY CARDO SOLELY TO THE ORIGINAL PURCHASER AND IS NOT ASSIGNABLE OR TRANSFERABLE TO OTHERS. CARDO ASSUMES NO OBLIGATION OR LIABILITY FOR ADDITIONS OR MODIFICATIONS TO THIS WARRANTY UNLESS MADE IN WRITING AND SIGNED BY AN OFFICER OF THE COMPANY.

Batteries are warranted only if the battery capacity falls below 50% of rated capacity or if the battery develops leakage.

This warranty becomes void if:

- a. any of the seals on the case or battery are broken or Product or battery show signs of tampering,
- b. the battery is used in equipment other than the equipment for which it was intended.
- c. the Product is used in contravention of its intended purpose
- d. the Product was purchased from online auctions

Cardo assumes no responsibility for direct and consequential damages, harm, merchantability or loss of any kind, including those resulting from the use of non-Cardo components or products in conjunction with its Products, and specifically the use of third party chargers or Bluetooth® devices. Furthermore, Cardo is not responsible for any damage to any part of the Product resulting from the use of ancillary equipment not furnished by Cardo which is attached to or used in connection with the Product.

What this warranty does not cover:

1. Defects or damage resulting from the use of this Product in other than its normal and customary manner.
2. Defects or damage from misuse, accident or neglect.
3. Defects caused by improper operation, maintenance, installation, adjustment or modification of any kind.



4. Products opened, disassembled or repaired by non-authorized parties.
5. Defects or damage due to exposure to excessive temperatures, adverse weather conditions, external impacts or spills of food or liquid.
6. All plastic surfaces and all other externally exposed parts that are scratched or damaged after purchase.

Disclaimer of Warranty

CARDO DISCLAIMS ALL EXPRESS AND IMPLIED WARRANTIES WITH REGARD TO THE ENCLOSED DEVICE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT. THE DEVICE AND ITS ACCESSORIES ARE PROVIDED "AS IS" AND "AS AVAILABLE" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND BEYOND THOSE ASSUMED IN THE ENCLOSED MANUAL.

LIMITATION OF LIABILITY

IN NO EVENT SHALL CARDO BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT, PUNITIVE, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER RESULTING FROM THE USE, MISUSE, OR INABILITY TO USE THIS PRODUCT OR FROM DEFECTS IN THE PRODUCT, OR FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THE PRODUCT, WHETHER BASED ON BREACH OF CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCT LIABILITY OR OTHERWISE EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. YOU ACKNOWLEDGE AND AGREE THAT THE LIMITATIONS SET FORTH ABOVE ARE FUNDAMENTAL ELEMENTS OF THIS AGREEMENT TO WHICH YOU CONSENT AND WITHOUT WHICH THE PRODUCT WOULD NOT BE PROVIDED TO YOU ABSENT SUCH LIMITATIONS. SOME STATES DO NOT ALLOW CERTAIN EXCLUSIONS OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

Cardo retains the exclusive right to repair or replace (with a new or newly-refurbished replacement Product) the device or software or give a refund of

the purchase price at its sole discretion. SUCH REMEDY SHALL BE YOUR SOLE AND EXCLUSIVE REMEDY FOR ANY BREACH OF WARRANTY.

Warranty Service

To obtain warranty service, your Product must be registered. Register online at: www.cardosystems.com/registration. Please present the Product, along with your registration number, bill of sale (receipt) at any authorized Service Center or at the store from which you have purchased the Product.

To obtain warranty service, contact Cardo's product support and obtain an RMA tracking number, or contact your local Cardo authorized dealer. Ship securely with a copy of the original sales receipt which is required as proof of purchase for warranty repairs. The RMA tracking number should be written on the outside of the package. Send the Product freight charges prepaid, to the Cardo address as directed by Cardo.

Online Auction Purchases: Online auction confirmations are not accepted for warranty verification. To obtain warranty service, an original or copy of the sales receipt from the original retailer is required. Cardo will not replace missing components from online auction sites.

Other manufacturers: Cardo is not responsible for and expressly disclaims any responsibility for how Cardo Products are used or misused arising out of use with products, services or information of other vendors.

General Provisions

This warranty is given in lieu of all other express or implied warranties, including without limitation, implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose.

1. Cardo is not liable for any incidental or consequential damages arising from the use or misuse of any of the Company's Products.
2. The user should never attempt to perform service, adjustments or repairs of the Product by him/herself. Doing so will void all warranties. During the term of the warranty, all Products must be returned to the point of purchase or the authorized service center for all necessary work.

3. The Company is not responsible for any loss or damage incurred during shipping. All repair work on the Product by parties not explicitly authorized by the Company will void any and all warranties.
4. The information in this Manual is furnished strictly for informational purposes and is subject to change without notice. Cardo assumes no liability or responsibility for any errors or inaccuracies that may appear in the Manual or Quick Start Guide.

NOTE: Look for appropriate displays to verify that you are being serviced by an Authorized Cardo Dealer or Service Center. Cardo retains the right to amend and change its Products, manuals and specifications at any time without notice.

WAIVER AND GENERAL RELEASE

By using the Product, you will waive substantial legal rights including the right to sue. Please read the following carefully before using the device. By using the Product you agree to be bound to this agreement and forfeit the right to sue.

By using the Product, you are irrevocably releasing, indemnifying from any liability, loss, claim and expense (including attorneys fees) and holding Cardo harmless for any bodily injuries, harm or death as well as losses or damages in goods, to any vehicles including your own, or to any property or asset that belong to you or to third parties, any of which may result from using the Product under any circumstances or conditions and irrespective of jurisdiction.

1. You, your heirs, legal representatives, successors or assigns, hereby voluntarily and forever release, discharge, indemnify and hold harmless Cardo from any and all litigation, claims, debts, demands, actions and liability which may arise, directly or indirectly, from using the Product for any distress, pain, suffering, discomfort, loss, injury, death, damages to or in respect to any person or property however caused, WHETHER ARISING FROM THE NEGLIGENCE OR

OTHERWISE, and which may hereafter accrue to you on some future date as a result of said use, to the fullest extent permitted by law.

2. You fully understand and assume the risks in using the Product, including risk of negligent acts or omissions by others. All risks for operating the Product are assumed solely by the user of the Product.
3. You confirm that you are physically capable to use the Product and that you have no medical conditions or needs that may infringe upon your abilities to do so in a safe manner. You confirm that you are at least eighteen (18) years of age and that you have been advised of the risks associated with the use of the Product. You further confirm that you will not consume any alcohol that may affect your alertness or any mind-altering substance, and will not carry, use or consume these substances before or during the use of the Product.
4. You fully acknowledge our warnings and understand that:
 - (a) risks and dangers exist in using the Product while in traffic, including but not limited to injury or illness, strains, fractures, partial and/or total paralysis, death or other ailments that could cause serious disability;
 - (b) these risks and dangers may be caused by the negligence of the manufacturers or its agents or any third party involved in designing or manufacturing the Product;
 - (c) these risks and dangers may arise from foreseeable or unforeseeable causes.
 You hereby assume all risks and dangers and all responsibility for any losses and/or damages, whether caused in whole or in part by the negligence or other conduct of others, including Cardo.
5. By using the Product, you confirm that you have read this release of liability and fully understand and accept its terms and conditions.

www.cardosystems.com

